

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER
GESSIN

June 2026

6月号
No. 13



絵：上田健太 UEDA, Kenta

〈2025-26年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

少しの成長から始まります

国際ロータリー第2700地区ガバナー 濱野良彦 (福岡東南RC)

よいことのため
に
手を取りあおう

2025-26年度 IR会長メッセージ



「ロータリー親睦月間」が求めること

2025-26年度
第2700地区 ガバナー
濱野 良彦 (福岡東南RC)

1921年 エジンバラ

この年に開かれた年次大会において、ポール・ハリスは「ロータリーの原動力は親睦です」と発言し、盛大な拍手を受けました。このスピーチは100年を経た現在も色あせることなく、21世紀のロータリアンにも受け入れられていると考えます。そして「奉仕と親睦」で私たちは結ばれていることに気付かされ、「奉仕」と「親睦」はロータリアンの原動力であると考えられています。

ロータリーの親睦とは

ロータリーが誕生し、その基盤を重厚なものとして確立する支柱となったものが「奉仕と親睦」です。「親睦」という言葉からは、宴会等での飲食を通じた仲間同士の連帯感を形成するもののように見えますが、ロータリーにおける「親睦」とは、ロータリアンとしての情報や経験を語り合い、自己研鑽と改善を図ることを目的とした、1920年代以来のFellowshipの考え方です。これは「ロータリーという苗木が成長するためには、その根に栄養を与える土壌が重要であり、その土壌こそが親睦(Fellowship)である」と説明できます。この土壌があるからこそ、奉仕の心を育て、さらに高めているのです。「Grow Rotary」そのものです。

会員の退会防止は親睦にあり

奉仕と親睦に結ばれたロータリーにおいて、国際ロータリー会員調査の結果から現状と今後の方向性を探ると、ロータリー会員を対象とした最近の年次

調査では、回答者の45%がロータリーにとどまり続ける理由として「友情」を挙げています。また、ロータリーを通じて友人とのつながりを維持できることについては、84%が「満足している」と答えています。さらに、回答者の42%が「地域社会に貢献する機会」を理由として挙げています。これらの基盤はいずれも「ロータリーの親睦」に起因します。

このような調査結果は、ロータリーの行動計画や戦略的イニシアチブの長期的な成功に資すると同時に、リーダーが会員の現状をよく理解し、親睦を通じて適切に対応することを可能にします。地域レベルにおいても、この情報を活用することでクラブと地区が入会への関心を高め、既存会員の参加をさらに促進することができます。

結び

2026年度クラブ活性化セミナーのテーマ「会員がやめないクラブづくり」のもと、「退会防止につながったロータリー財団のプログラム」や「例会は仕方がない」で終わらせない取組〜心が離れる、その前に〜について意見交換を行いました。入会者数の増加は当然として、退会者数の減少のためには、ロータリーの親睦が重要であることをクラブ会員間で共有していく必要があります。

ガバナーの千思万考

私が伝えたかったこと

2025-26年度
第2700地区 ガバナー
濱野 良彦 (福岡東南RC)

はじめに

2025年7月1日から、RI第2700地区において、各クラブおよびクラブ会員が、諸事においてこれまでの努力に1%を加えた101%の行動を起こし、少しでも成長することで、地区の地力を上げることになり、また、地区においても同様な少しの成長が各クラブやクラブ会員の持つ力(会員力)を増強することになるように、手を取り合うことをお願いしました。私たちの少しの成長なしにはRI会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」はあり得ないと考えたのです。これが地区からのメッセージの本質であり、これを各クラブおよびクラブ会員へ呼びかけました。

ガバナーメッセージ：少しの成長から始まります

ガバナーサブメッセージ：1.01で成長、0.99で衰退

ガバナー補佐の皆様方へ

2025年度から、国際ロータリーは単年度制の良いところを残しながら、変則的ではありましたが、複数年度制の定着を目指し、活動し続けてきました。ガバナー補佐に任命された皆様方には、この流れを知って頂き、これまでのガバナー補佐の役割とこれからの役割との違いについて、積極的に取り組んで頂いたことに感謝いたしております。その結果として、各グループで開催されたインターシティミーティング(IM)は、自由で闊達なIMを企画され、大きな成果を収められたことに敬意を表します。

2025年7月のガバナー就任前に、慣例の「ガバ

ナー補佐会議」だけでなく、ガバナーエレクトは、ガバナー補佐エレクトの方々と個々の面談を2025年度の準備として行いました。これまでの「ガバナー補佐会議」に加えて、複数年度制の対応に関する濱野年度の考え方にご理解いただいたことに感謝している次第です。加えて、第2700地区の奉仕活動の展開を、各クラブ会長に共有情報として頂くために新規事業として開始しましたクラブサポートミーティング(CSM)では、ガバナー補佐の皆様方のお力添えで、他のグループあるいは他のクラブの活動に関する情報を共有できましたこと、ありがとうございます。

ガバナー補佐としての経験に裏打ちされた有能な7名の皆様方には、第2700地区でのこれからのご活躍を期待しています。

ガバナー活動を振り返って

1. 公共イメージ向上の推進

ロータリー活動について、ロータリアン自身の考え方と一般社会が見るロータリーの評価との間には大きな乖離が長年存続してきているだけでなく、近年はその乖離がロータリーの活動に負の影響を及ぼしていることを見逃すことはできません。そこで公共イメージ向上の推進に地区全体で活動してきました。

• FMラジオ放送

第2700地区においても長年奉仕活動は継続されてきているもののその社会的認知度の低さに触れ

ると、驚きだけでなく自負心や自尊心が傷つき喪失感すら感じられるのです。その結果、ロータリーのブランド力に対して強い懐疑心を持つこととなります。多額の浄財を用いた奉仕活動を行っていることはロータリアン仲間同士にはインナーブランディングとして理解できています。これがロータリー活動はロータリー関係者には評価されていますが、社会的にはロータリーは経済的に裕福な人たちの社交的集団との見られ方が、アウターブランディングにおける評価であるといえます。目立たない奉仕活動(隠匿の考え方)を良しとする考え方だけでは、多額の浄財の使用に対する奉仕活動の社会貢献度に対して、ロータリアンの同意を得ることはできないと同時にロータリーの奉仕活動に対する一般社会の共感や賛同を手にもできない時代になったことを経験してきました。

ロータリーの「ブランド力」を再構築するのが今回のFMラジオ放送企画です。毎週1回15分間、現役ロータリアンのインタビューを通して、1年間と限られた期間でしたが、ロータリーの奉仕活動に対する一般社会の共感や賛同を多くの機会を作ってまいりました。

• 文化事業への後援

第2700地区は、多くの芸能人を世に出すような地域特性から、私たちロータリアンは、文化事業やそれに関する奉仕活動に関わってきています。ロータリアンが行う文化事業に関する広報活動の支援を展開することで、ロータリーの公共イメージの向上に寄与することを目的とし、現在、第2700地区で支援活動を始めるための運用方法に関して試行錯誤をしつつ進めています。

第1回ラーニング委員会(2025年7月10日開催)で、この事業に関する概略を説明し、国際ロータリー第2700地区の活動の一つとして、ロータリアンが

行う文化事業に対する何らかの支援活動に関して今年度中に、「ロータリアンの文化事業に関する広報活動支援について」運用できるような組織建てを行っています。

2. 他の団体とのパートナーシップの連携

• ロータリーにおける姉妹地区について

「姉妹地区」協定は、複数のロータリー地区間で公式に締結されるパートナーシップです。ロータリーにおいて「姉妹地区」の締結は、国や文化を越えて友情と協力の絆を築くための重要な制度です。これまでのクラブ間での「姉妹クラブ」の関係性を継続しながら、地区と地区との姉妹関係は、これからのロータリー活動の新しい潮流となります。

国際奉仕活動に多様性を持たせることで、若年層のロータリー会員の確保に良い影響を生み出すことから、グローバル補助金の用い方に関して、先進国(日本)から後進国への支援活動(高いところから低いところへとグローバル補助金が流れる状況)に加え、地区の地域経済性、教育程度や文化度が同程度の2つの状況の地区同士の交流から、相互支援活動の安定化が可能となり、諸事条件が同等であることからクロスオーバー状況を生み出すことで、新しいグローバル補助金による支援活動が創生されると考えます。

地区の国際奉仕委員会の中に新しく「グローバル補助金相談室」を立ち上げ、ロータリー財団との連携を企画したことをクラブ公式訪問で説明してきました。そして次のステップとして、新規事業として第3481地区(台北市)との「姉妹地区」と締結へと進めたのです。

第2700地区が、台湾の第3481地区(台北市)と姉妹地区を締結によりまして、両地区間での交流がより一層活発になり、国際的な視点を持った活

動が展開されることとなります。姉妹地区・姉妹クラブの関係は、単なる形式的な協定ではなく、ロータリアン同士が信頼と尊敬に基づいて築く「実務的な絆」です。このようなつながりが、平和と理解を促進し、より良い社会を創る力となることを私は確信しています。

• 国際共同委員会 (ICC) について

国際共同委員会 (Intercountry Committees : ICC) は、異なる国のロータリー地区またはクラブ同士が、国境を越えて理解と協力を深めるために設置する常設の協力機関です。ICCは、RIの公式方針としてロータリー章典に定義された活動モデルであり、特に「平和構築」「国際理解の促進」に貢献するものとされています。RIやロータリー財団は、ICCを通じた活動が有効であると認め、国際奉仕の一形態としてその活用を推奨しています。また、ICC活動は公共イメージの向上にも寄与し、多文化理解・国際協力の場として、若者の育成にも効果があります。

• 日本—ウクライナICC

第2520地区(岩手・宮城)の加藤雄彦ガバナーの提案のもとに今年度から始まったICC活動です。すでに日本の34地区のうち14地区が参加し、日本全国のロータリアンがウクライナとの関係を共有できるように現在準備期間中です。ICCは特に医療支援、環境支援、水と衛生、母子保育支援の4分野に重点を置っていますが、これに限らず教育や青少年育成、地域開発など必要に応じて支援の活動の幅は広がってくると考えられます。今後の活動の推移に関する情報提供を行ってまいります。

• グローバル補助金相談窓口

他の団体とのパートナーシップの連携を強化するためには、活動資金が必要になります。その対応策として、第2700地区の国際奉仕委員会の中に「グローバル補助金相談窓口」を発足しました。国際奉仕委員会とロータリー財団とが、協働できるような組織を目指しています。とりわけ姉妹地区間やICCで行う支援においては、グローバル補助金を用いることとなります。幸いにもグローバル補助金として請求できる多額の資金を第2700地区は確保しています。かように、活動資金を有効に用いることができる事業が提案され、実施することができている、特別な地区であるのです。

結び

2023年1月にガバナーノミニージェグネートに就任してから、ガバナー就任までの見習い期間において、多くのロータリアンから多種多様なアドバイスを頂きながら、2025年7月に第2700地区のガバナーに就任いたしました。その後の61クラブへのガバナー公式訪問では、第2700地区のロータリアンの皆様方との交流により、私自身が成長できた実感を持っております。

ガバナー月信6月号が私からの最後のメッセージとなりますので、パストガバナーの皆様方、地区委員会の委員長および委員の皆様方、そして惜しみなくガバナー活動への支援を頂いた福岡東南ロータリークラブの会員の皆様方に、また、ガバナー事務所の皆様方へ心から感謝いたしております。ガバナー在任中が千思万考の日々であり、私の原動力となったことはありがたいことと感謝しつつ結びいたします。心から、ありがとうございます！

第7グループ IMのご報告

2026年4月18日（土）

おおむたハイツ「テラス有明」

第7グループガバナー補佐

安元 大介（大牟田RC）



去る2026年4月18日（土）おおむたハイツ「テラス有明」におきまして、第7グループのインターシティミーティング（IM）を開催いたしました。当日は、濱野良彦ガバナーをはじめとするご来賓の皆さま、ならびに第7グループ各クラブの会長・幹事、多くのロータリアンの皆さまにご参加いただき、盛会となりましたことを心より厚く御礼申し上げます。

本年度のIMは、私自身がRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）を受講し、その学びに深い感銘を受けたことがきっかけとなりました。「この素晴らしい体験を第7グループの皆さまと共有し、さらなるクラブの強化につなげていただきたい」という思いから、「RLIを体験しよう～ロータリーを知り、少しの成長から大きな楽しみへ」をテーマに掲げ開催いたしました。

当日は、RLI委員会の篠原隆好委員長をはじめ、同委員会メンバーの皆さまにファシリテーターをお務めいただきました。8テーブル16グループに分か

れ、40分×2セッションという体験版の構成ではありましたが、RLIを初めて経験するメンバーも多量中、自身の経験や各クラブの課題、そして未来へのビジョンについてなど、世代やクラブの垣根を越えて真摯に語り合う姿がとても印象的でした。

その後の懇親会も、「RLIを体験してみてどうでしたか」についてのライブインタビューや、サクスの生演奏による「手に手つないで」の斉唱など、大いに盛り上がりを見せました。皆さまが熱心に親睦を深め、新しい友情の輪を広げる様子を拝見し、第7グループの絆の深さを改めて実感した次第です。

本IMを通じて得られた「少しの成長」が、皆さまの今後のロータリーライフにおける「大きな楽しみ」へとつながっていくことを願っております。最後に、ホストクラブとして多大なるご尽力を賜りました大牟田ロータリークラブの皆さま、ならびにご協力いただきました関係各位に深く感謝を申し上げ、IM開催のご報告とさせていただきます。



大牟田 RC 集合写真



濱野ガバナー（ご挨拶）



安元ガバナー補佐（ご挨拶）



大牟田 RC 服部会長（歓迎のことば）



中尾 IM 実行委員長（主旨説明）



RLI 委員会篠原委員長（RLI の説明）



濱野ガバナー（乾杯のご発声）



「RLI を体験しよう」の様子



懇親会の様子



RLI 委員会ファシリテーターの皆さま



ガバナー補佐として一年を振り返って

第1グループ ガバナー補佐
末松 孝一 (行橋 RC)

本年度もいよいよ終盤を迎え、ガバナー補佐としての一年を振り返る時期となりました。この一年、濱野ガバナーの地区メッセージ「少しの成長から始まりませす」のもと、第1グループ各クラブの皆様とともに歩んでまいりましたことに、心より御礼申し上げます。

ガバナー補佐として各クラブを訪問し、例会やクラブ協議会に参加させていただく中で、各クラブがそれぞれの地域に根ざし、特色ある活動を着実に実践されていることを実感いたしました。会員の皆様との対話を通じて感じた一つひとつの取り組みが、クラブの力となり、グループ全体の前進につながっていることを強く感じた一年でありました。

各クラブにおかれましては、「クラブセントラル」に掲げた目標に向かい、それぞれが着実に歩みを進めておられます。その姿は非常に心強く、第1グループ全体としての結束力と前進する力を実感しております。私といたしましては、ぜひ全クラブが目標を達成され、「クラブ優秀賞」を受賞されることを心より願っております。

本年度の大きな事業として、2月に第1グループのインターシティ・ミーティングを開催いたしました。「奉仕は続くよ どこまでも」をテーマに、6クラブ合同例会として実施し、多くの皆様にご参加いただきました。特に、JR九州代表取締役社長 古宮洋二様をお迎え

し、ご講演を賜ることができたことは、第1グループとして大きな誉れであったと感じております。講演を通じて得られた学びに加え、懇親会におけるクラブ対抗カラオケ大会は、クラブの垣根を越えた交流の場となり、貴重な機会となりました。

一方で、反省点もございます。特に会員増強の分野において、ガバナー補佐として十分に関与し、具体的な成果につなげることができなかったことは、大きな課題として残りました。各クラブが努力されている中で、より踏み込んだ支援や働きかけが必要であったと痛感しております。

この一年を通じて改めて感じましたのは、ロータリーの原点は「人と人のつながり」にあるということであり、例会や事業を通じて築かれる信頼関係が、奉仕活動の原動力となり、地域社会への貢献へとつながっていることを実感いたしました。

最後に、濱野ガバナーをはじめ地区役員の皆様、第1グループ各クラブの会長・幹事・会員の皆様、そして本年度の活動を支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

今後も一会員としてロータリー活動に積極的に関わって、地域社会の発展に寄与してまいりたいと存じます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



濱野ガバナーご挨拶



第1グループ みんなでYMCA



ガバナー補佐として一年を振り返って

第2グループ ガバナー補佐
大坪 彰治 (門司西RC)

ガバナー補佐としての一年を振り返りますと、あっという間でありながらも、大変充実した実り多い時間であったと感じております。

本年度は「沢山のロータリアンとの交流を楽しもう」というメッセージを掲げ、各クラブを訪問し、多くの会員の皆様と出会い、語り合う機会をいただきました。訪問のたびに温かく迎えていただき、率直なご意見や日々の活動への思いを伺う中で、ロータリーの魅力と奥深さを改めて実感いたしました。

クラブごとに歴史や活動の特色は異なりますが、その根底には奉仕の精神と仲間を大切にする心が脈々と受け継がれており、例会や懇親の場での何気ない交流の一つひとつが、私にとって大変印象深いものとなりました。まさに人と人とのつながりこそが、ロータリーの原点であり、大きな力であると強く感じた次第です。

また、交流を通じて多くの学びを得ることもできました。クラブ運営の工夫や地域に根ざした奉仕活動、会員増強への取り組みなど、それぞれの現場での努力や創意工夫に触れることで、自身の視野が広がり、大変貴重な経験となりました。同時に、課題や悩みを共有し、支え合うことの大切さも実感した一年でありました。さらに、世代や職業を超えた出会いの中で、新たな価値観や気づきを得ることができたことも、大きな財産であったと感じております。

私自身、皆様を支える立場でありながら、実際には多くのことを学ばせていただき、支えていただいたことに心より感謝申し上げます。

今後は一会員として、この経験を生かしながら、引き続きロータリー活動に積極的に関わってまいります。最後に、この一年間のご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝と各クラブのさらなるご発展を心より祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。



北九州マラソンにおけるボランティア



第2グループ新旧会長幹事会



ガバナー補佐として一年を振り返って

第3グループ ガバナー補佐
大林 清幸 (八幡西RC)

本年度、第3グループガバナー補佐を務めさせていただき、あっという間の一年でございました。また、多くの学びと出会い、そして温かい友情が詰まった大変充実した一年でもありました。

クラブ協議会で全クラブを訪問させていただき、それぞれのクラブが地域に根ざし、会員の皆様が熱意を持って奉仕に取り組まれている姿に感銘を受けました。

また、ガバナー公式訪問では各クラブの特徴や現在抱えている具体的な課題にもそれぞれのクラブが前向きに向き合っていることに触れることができました。

IMは、「国際奉仕をここから始めよう～あなたの一歩が、世界を変える～」をテーマに開催いたしました。基調講演ではRI3350地区バンコクスリウォンRCの小田原靖様に基調講演をお願いしました。

奉仕の心は、国や文化、言葉を超えて人と人をつなぐ大きな力です。国際奉仕の意義を改めて感じていただけるIMになったことと思います。

IMをはじめ様々な行事を通じ、第3グループの会員の方々と親睦を深めることができました。改めてロータリーの素晴らしさは「奉仕」はもちろんのこと、「友情」と「つながり」にあることを実感いたしました。

最後に、無事にガバナー補佐の仕事を務めることができましたのも、濱野ガバナーをはじめ各クラブ会長、幹事そして会員皆様のご支援とご協力のおかげです。心より感謝いたします。

これからこの一年でいただいたご縁を大切に、今後もロータリアンとして、奉仕と親睦の輪を広げてまいります。

一年間、本当にありがとうございました。



ガバナー補佐として一年を振り返って

第4グループ ガバナー補佐
今村 次美 (太宰府 RC)

今年度、ガバナー補佐に任命いただき、ロータリー活動に深く関わることができました。この一年間は、挑戦と成長の連続でした。ここに、その経験を振り返り、ご報告申し上げます。

まず、クラブ協議会においては、各クラブの活動状況を把握するとともに、濱野ガバナーのビジョンを共有することに努めてまいりました。その結果、クラブ内外の連携が強化され、共通の目標に向かって協力し合う姿勢が醸成されたものと感じております。

また、ガバナー公式訪問では、各クラブのメンバーの皆様との対話を通じて、具体的な課題や成功事例を共有することができました。特に、メンバー一人ひとりの熱意とロータリーへの献身的な貢献に触れたことで、私自身も大きな刺激と学びを得ることができました。

次に、ロータリー奉仕デーにおいては、9月14日に「2025東京デフリンピック応援会」を開催いたしました。本事業では、11ロータリークラブおよび30団体の支援のもと、各地域の行政や教育機関のご協力をいただき、5万名分の応援メッセージを集めることができました。

当日は、全クラブからご参加をいただき、会場は最後まで満席となるなど、大変盛り上がりを見せました。テレビや新聞などのマスコミにも多数取り上げていただき、ロータリークラブの公共イメージ向上に大きく貢献できたものと考えております。

IMは、本年2月14日、太宰府天満宮において、「奉仕のバトン～受け継ぎ・育み・未来へ歩む～」をテーマに開催いたしました。

基調講演では、太宰府天満宮最高顧問 西高辻信良様より「天神の柱に生きて」、また、九州国立博物館初代館長 三輪嘉六様より「九州国立博物館の回顧とこれからの展望」と題した、貴重なお話をいただきました。混沌とした国内外の社会情勢の中であって、日本の歴史や文化を改めて見つめ直し、今後、ロータリー活動

が果たすべき役割や在り方について考える、たいへん意義深い機会となったものと感じております。

懇親会にも多くの会員にご参加いただき、和やかな雰囲気のもと、有意義な意見交換が行われました。

また、閉会の「手に手つないで」では、参加者全員が声を合わせて力強く歌い、大きな友の輪が会場の外まで広がるなど、会場は終始、笑顔に包まれました。今年度、ガバナー補佐として心掛けたことは、可能な限り多くのクラブを訪問し、例会に出席することでした。多くの皆様と交流する中で、数多くの学びを得ることができました。今回の経験を通じて得た知識やスキルを、今後も生かしていきたいと考えております。

最後に、濱野ガバナーをはじめ、地区役職者の皆様、第4グループの会長・幹事の皆様、ならびにすべての会員の皆様に、心から感謝申し上げます。

この一年間、温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。



IM後の懇親会、全員で「手に手つないで」



奉仕デー、デフリンピック応援会



第4G IM 式典会場、太宰府天満宮



第4グループ会長幹事会、4回開催



ガバナー補佐として一年を振り返って

第5グループ ガバナー補佐

森 陽一 (福岡北 RC)

第5グループガバナー補佐としての1年を振り返ってみますと、ガバナーが掲げられた「少しの成長から始まります」というテーマのもと、私はロータリーを楽しもう「身の丈に合った活動をしよう」というメッセージを皆様にお伝えしました。この一年、各クラブの皆様と歩みを共にする中で、私自身が最も多くのことを学ばせていただいたと感じております。

公式訪問では、それぞれのクラブが地域に根ざし、独自色を持って奉仕に励まれる姿に深く感銘を受けました。また、クラブ創立記念行事への参加を通じて、先人たちが築き上げてきた歴史の重みと、次世代へ繋ぐ情熱を肌で感じることもできました。

最大の行事であったインターシティミーティング(IM)では、ホストクラブをはじめとする皆様の献身的なご尽力により、第5グループの強い結束を示すことができました。無理をせず、等身大の奉仕を楽しみながら継続すること。その積み重ねこそ

が、結果として組織の「少しの成長」へと繋がり、ひいては持続可能な社会への貢献に直結するのだと確信した次第です。

一年間、至らぬ点多々あったかと存じますが、皆様の温かいご支援と友情のおかげで、この重責を全うすることができました。心より感謝申し上げます。

次年度は地区幹事エレクトという、さらに責任ある職責を担うこととなります。この一年間、現場で皆様からいただいた温かいご支援と、地域奉仕の最前線で感じた熱い想いを決して忘れることはありません。ガバナー補佐として培った経験を糧に、次年度は地区全体の円滑な運営と、さらなる発展のために微力を尽くす所存です。

結びに、ガバナーをはじめ、グループ内の会長・幹事、そして全ての会員の皆様に、深い感謝と敬意を表し、一年間の振り返りとさせていただきます。誠にありがとうございました。



ロータリー奉仕デイ



会長・幹事会(吉岐)



ガバナー補佐として一年を振り返って

第6グループ ガバナー補佐
鴛渕 雅男 (甘木RC)

第6グループのガバナー補佐に就任しての1年はあっという間で、長いようで短く感じられました。

クラブ協議会やガバナー公式訪問の対応は、ガバナー補佐の大きな役割です。今回のクラブ協議会は、各クラブの活動状況や今後のクラブの方針を詳しく知るための重要な機会となりました。さらにガバナー公式訪問では、濱野ガバナーより国際ロータリーの最近の変化についてお話いただき、クラブ会員と共有することができました。

2026年2月7日には「魅力ある奉仕活動」をテーマにIMを開催し、魅力ある奉仕活動を実践されたお二人についての講演を企画しました。予想以上に素晴らしいIMであったと感じています。1人目は、江戸時代の名君として誉れ高く、かの有名な上杉鷹山公の甥でもある秋月藩第8代藩主の黒田長舒公で、領民のために産業育成や人材育成、医療支援など多くの功績を残された方です。2人目は医師であり、我々と同じロータリアン（第2580地区沖縄首里RC）である大類隼人氏です。日本内外の地震での災害救命医療活動をはじめ、ハイチやバングラデシュ、ケニア（東アフリカ）、ブルキナファソ（西アフリカ）などで国際医療支援活動を現在も続けておられます。お二人の時代背景は全く異なるのに共通点があります。行動の原点が同じであることです。すなわち、人を思いやり、人のために役に立つこと、これはロータリーの奉仕の理念であり、その実践により多くの人を惹きつけ、多くの人に感動と感謝をもたらす、とてつもなく魅力ある人物となっているということです。

今回、他グループの全てのIMに参加させていただきました。各グループとも素晴らしいテーマを企画され、とても興味深く、多くの知見を得ることができました。

この1年間は多くの方と出会い、語り合い、多くのことを気付かされる大変有意義な年でした。

最後に、2025年～2026年度のガバナー補佐の大役を皆様のおかげで何とか果たすことができましたことを、濱野良彦ガバナーをはじめ、地区役職者の皆様、ガバナー年度のホストクラブである東南RCの皆様、第6グループの会長や幹事、会員の皆様、甘木RCの皆様に心より感謝申し上げます。



ガバナー補佐として一年を振り返って

第7グループ ガバナー補佐
安元 大介 (大牟田 RC)

「出会い」と「学び」の1年

私たち第7グループのガバナー補佐は輪番制となっており、今回、大牟田ロータリークラブの担当として私とその重責を担うことになりました。就任が決まったのは2年前のこと。何より印象深かったのは、本年度のスタートに先立ち、濱野ガバナーおよび土井幹事との面談が行われたことです。

ガバナー自らが事前に各クラブの例会を訪問し、その後、ガバナー補佐一人ひとりと一対一で向き合い、運営方針や想いを直接語り合う。私の知る限り、エレクト期間中にこのような丁寧な対話の場が設けられたのは初めての経験でした。「第7グループのことは任せました。IMも自由闊達に行ってください」という力強い言葉をいただき、私のガバナー補佐としての活動が本格的に幕を開けました。

「事前調査訪問」で見えた各クラブの個性と課題

年度が始まってからの主要な任務の一つが、ガバナー公式訪問に先立つ「事前調査訪問」でした。第7グループ内の各クラブを回り、例会のあり方や雰囲気、その歴史、さらには現状の課題やクラブセントラルの掲載状況までを細かく確認し、講評を行います。

この作業は多大な労力を要するものでしたが、それぞれのクラブが持つ独自のカラーや熱意に触れることができ、私自身にとっても非常に大きな学びとなりました。第7グループ内の多くのクラブが会員増強に苦戦をしてお

りますが、衛星クラブ設立などの新たな事業にも取り組んでいます。ロータリーの多様性を肌で感じる、貴重な時間であったと実感しています。

渋々の受講から生まれた「RLI体験とIM」

本年度、最も注力したことの一つがIMの企画です。当初、ガバナー補佐の必須研修としてRLI（ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート）の受講を求められた際は、正直に申し上げて「渋々」の参加でした。しかし、実際にセッションを受けてみると、その内容の深さに「これは素晴らしい！」と感動し、すぐさま「この学びをIMで再現できないか」と考え始めたのです。

2025年1月に開催されたRLI研修会受講後に、RLI委員会の篠原委員長にその想いを伝え、内記事務局長と共に準備を進めました。そして、実行委員会を立ち上げ、会長・幹事、正副実行委員長や事務局を中心に実施に向け動き出し、全会員を巻き込み、「RLIを体験しよう！～ロータリーを知り、少しの成長から大きな楽しみへ」というテーマで実施しました。当日のIMは、多くの会長・幹事、そしてロータリアンの皆様のご協力により、盛会のうちに終わることができました。

この1年を支えてくださった第7グループの皆様、そして私の奔放な企画を力強くバックアップしていただいた大牟田ロータリークラブの皆様に、心からの感謝を捧げます。



第7グループ IM RLI 委員会と私



第7グループ IM での挨拶



筑後・柳川・八女・大川 RC
合同例会（屋外）



濱野ガバナー公式訪問
(柳川 RC)



第7グループエンドポリオチャリティゴルフ大会



苜田ロータリークラブ 創立 50 周年によせて

苜田ロータリークラブ会長
松本 聡

4月4日(土)にリーガロイヤルホテルにて、『苜田ロータリークラブ創立50周年記念式典』を開催させていただきました。ご臨席いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。当クラブがこうして50周年を迎えることができたのは、ひとえに、親クラブである行橋ロータリークラブの皆様、ご臨席の来賓の皆様、OB・OGの皆様からのご支援、ご指導のおかげです。改めてお礼申し上げます。

また、3月16日には創立50周年記念事業として北九州空港正面玄関横に長崎原爆ゆかりの「嘉代子桜」を植樹しました。そして「これから何十年と咲き続け、ここを訪れる多くの人々の心に平和への願いを伝える象徴になることを願っている。」と平和宣言をしました。

苜田ロータリークラブは、これからも地域社会へ

の奉仕と親睦を大切に、次の未来へ向けて歩みを進めてまいります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



創立 50 周年記念事業 嘉代子桜植樹式 (2026 年 3 月 16 日)



創立 50 周年記念集合写真

豊かな自然プロジェクト

八幡中央RC

プロジェクト名

板櫃川周辺の清掃活動



開催日／2026年3月20日（金） 開催場所／八幡東区の板櫃川周辺

八幡中央RC 副会長
高原 博樹

3月20日に「豊かな自然プロジェクト」として、八幡東区の板櫃川周辺の清掃活動を行いました。年初の予定では昨年の10月に実施予定でしたが、荒天のために中止、11月に延期したにも関わらず再度荒天により中止、三度目のチャレンジで晴天に恵まれてやっと実施にいたりしました。会員30名、八幡高校インターアクト34名、同校の書道部より14名が参加いたしました。

3時間をかけて川周辺の清掃をした後に老健施設を訪問して、八幡高校書道部が書道パフォーマンスを施

設利用者に披露いたしました。施設利用者の方にとってお孫さん年代の子の書道パフォーマンスを感心して見ておられ、涙を流される方もいらっしゃいました。終了後には、参加者全員で施設利用者と交流をし、特にインターアクトクラブ生徒たちは、自分たちの活動の話や、利用者の方の高校時代の話の聞いたり積極的に活動をしていました。高校生たちが楽しそうに奉仕活動をする姿をみて、ロータリアンとして奉仕とはこうあるべきと再認識した1日となりました。



清掃活動の様子



八幡中央 RC 会員、八幡高校 IAC 集合写真



八幡高校書道部による書道パフォーマンス



施設利用者様の応援と笑顔

豊かな自然プロジェクト

豊前RC



プロジェクト名

森林セラピーウォーキング

開催日／2026年3月28日（土） 開催場所／豊前市山内

社会奉仕委員長
平良 純子（豊前RC）

2026年3月28日（土）、豊前市山内にて「豊かな自然プロジェクト 森林セラピーウォーキング」を開催いたしました。当日は晴天に恵まれ、最高のセラピー日和となりました。

本事業は、森林セラピーを通じて心身の健康増進と自然環境の保全意識の向上を目的として実施したものです。当日は、山のふもとから宇都宮藩ゆかりの如法寺を経て見晴らしの丘へと向かうルートでウォーキングを実施しました。一般参加者32名、青豊高校インターアクト部員および顧問8名、ロータリアン14名、豊前市役所、豊前市観光まちづくり協会の皆様を含め、総勢約70名での開催となりました。

ガイドには、豊前市森の案内人の会（神園真人会長）の皆様を中心にご協力いただき、参加者は解説を聞きながら歩くことで、自然や地域の歴史に親しみ、保全活動への意識を高める機会となりました。

目的地である見晴らしの丘に立つ「才尾の一本桜」は、樹齢100年を超えるヤマザクラの大木で、満開の花をたたえたその姿は圧巻であり、参加者からは感嘆の声があがりました。桜の大木のもとで桜餅と日本茶、コーヒーを振る舞い、春霞に包まれた豊前市

の風景を眺めながら、自然の中でのひとときを楽しんでいただきました。

また、如法寺のご協力のもと、敷地内でセラピー弁当を味わっていただくとともに、寺院の見学も行いました。

さらに、ロータリアンの先発部隊により、経年劣化により損傷していた登山道の階段整備を実施し、安全性の向上を図りました。これにより歩行ルートが明確となり、自然環境への負荷軽減にもつながることが期待されます。

参加者にも登山道の整備にご協力いただき、自然を守る活動を体験として共有することができました。

今後も豊前ロータリークラブでは、地域資源である豊かな自然を守りながら、その魅力を発信する活動を続けてまいります。



登山道



お堂前での説明（神園真人会長）



才尾の一本桜の前で集合写真



森林セラピー弁当（如法寺）



第3回 会長幹事会

地区RA委員会 共同委員長
片山 亮輔 (福岡南RAC)

2026年4月5日、第3回会長幹事会を福岡市内にて開催しました。地区RA共同委員長(地区RA代表)エレクトおよびノミネーについて発表した後、来期のスケジュール共有やそれぞれから決意表明をしてもらいました。2026-27年度の地区RA共同委員長には福岡西RACの藤岡歩さんが、2027-28年度には福岡中央RACの田中亜美さんがそれぞれ選出されております。それぞれにRAに対しての熱い思いがあり、頼もしく感じております。

会議ではRA規程や今後のスケジュールについて確認した後、会員増強について意見交換しました。その中では、外部からの参加を募るための企画やボランティア募集サイトの活用といった点についてポジティブな議論ができたと思います。

現状のRAC会員数は活動休止クラブを含めると180名近くおりますが、その内情としては、会員数1人のクラブや会員はいるものの会員が例会に来られず活動がままならないようなクラブもございます。会

員増強は解決が必要な課題であると感じる一方、会員が定着してもらえるような組織運営も不可欠です。一時的に、会員が増えたとはいえ3年後に活動がままなくなっているようでは、課題を解決したとはいえません。

また、会員の入会動機についても言及がありました。RACは青少年育成や奉仕活動、他業種との交流など、さまざまな観点で活動できる団体でもあります。企業や部活動など、活動内容が限定されるような団体との違いはここです。会議では、各人の入会動機に沿うような活動を上げていくとともに、欠席しがちな会員を呼び戻すために受け入れ体制を整えることについてもアイデアが上がりました。

これらの活動は、「えいや」でやっしまえば一時的な成果は得られると思いますが、効果を持続させるためには丁寧な議論や組織設計が必要だと考えます。来期・再来期に向けても前向きな議論や活動が繰り広げられることを期待しております。





台湾第 3490 地区年次大会参加報告

ローターアクト委員会 副委員長
寺下 良真 (八幡RC)

2026年5月1～4日、第2700地区ローターアクト委員会副委員長として台湾第3490地区年次大会を訪問しました。今回の訪問では、先方から「地域文化を体験する親睦プログラム」と「認知症者への社会保護体制構築に関する奉仕活動」の二面で厚い歓迎を受けました。親睦面では、客家文化に由来する茶・藍染体験、靈廟参拝、小人遊園地訪問、名製品の提供などを通じ、第3490地区メンバーの背景や価値観を深く理解する機会が得られました。

奉仕面では、昨年度の第2700地区森共同委員長による「認知症を知る」企画の発表が契機となり、第3490地区が行政・企業・地域社会を巻き込んだ認知症者支援体制の構築に着手したことが報告されました。森委員長のプレゼンは「日本語でわかりやすくプレゼンした」ものであり、同時通訳と翻訳資料を通じて先方全体に共有されました。この影響を受け、第3490地区は受入委員会の発足と同時に奉仕活動を開始し、11月のガバナー公式訪問までに受入旅程の動画資料を作成、認知症理解の実践活動にも取り組みました。

昨年11月には第3490地区から予想を超える人数が来日し、北九州・福岡・筑後を巡る旅程を提供しました。各地のローターアクトクラブが地域文化や奉仕ニーズを紹介し、第3490地区メンバーは積極的に交流を深めました。その結果、今回の台湾訪問には第2700地区から異例の17名が参加することとなりました。

今回の訪問で特筆すべきは、第3490地区が認知症

支援体制をゼロから設計し、社会実装を目指して動き始めている点です。台湾では認知症が日本ほど深刻な社会課題と認識されておらず、この取り組みは先進的事例となります。年次大会の親睦プログラムにも認知症者の苦悩を体感できるゲームが組み込まれ、地区委員会活動に馴染みの薄い若手にも意義が伝わる工夫がなされていました。

第3490地区のローターアクターは「この事業は第2700地区との交流がなければ生まれなかった」と述べ、ロータリアンも「この1年での成長は著しい」と評価し、交流が双方の成長を促していることが明確に示されました。

また、昨年の訪日を契機に八幡RCと台北集賢RC、八幡RACと三東湧蓮RACの間で友好関係が形成され、八幡RC70周年式典にも先方が出席するなど、クラブ間の親睦も深化しています。

今後は第2700地区側が応える番ですが、会員減少や組織混乱から立ち直れていないクラブも多く、まず体制強化が不可欠です。ただし今回の交流を通じて成長の芽は見えており、2～3年後には成果が期待できます。特に今年11月の第3490地区来日に向け、第2700地区が「未来社会をともに構築する方向性」を示す親睦企画を設計できるかが重要となります。

本交流事業は若いローターアクターの爆発力を活かし、ロータリアンにとっても親睦と奉仕の可能性を拓けるインフラとなりつつあります。確変が始まったこの交流に、ぜひ関わっていただけますようお願い申し上げます。

4月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当月末 累計出席率	期 首		当 月				2024年度6月末日からの累計			My Rotary 登録率 (5/1現在)	26年7月1日 目標会員数																
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減																		
1	豊 前	4	78.83	30	3	1	0	30	4	2	1	1	63.33	33																
	豊 前 西	2	73.12	9	1	0	0	9	2	1	1	0	77.78	13																
	刈 田	4	75.50	29	3	0	0	28	3	0	1	-1	82.14	30																
	田 川	4	90.10	37	2	0	1	35	2	1	3	-2	85.71	39																
	行 橋	3	73.28	39	6	1	0	39	6	3	3	0	96.08	55																
	*衛星クラブ	1	64.32	12	6	0	0	12	6	0	0	0	100.00	54																
	行 橋 みやこ	3	51.22	52	3	0	0	52	4	2	2	0	100.00	54																
計(6RC)	21	72.92	208	24	2	1	205	27	9	11	-2	84.17	224																	
2	小 倉	3	79.12	63	3	2	0	67	3	8	4	4	27.69	74																
	小 倉 中央	3	89.72	43	12	0	0	43	12	0	0	0	81.40	45																
	小 倉 東	3	85.68	92	5	0	0	95	6	6	3	3	68.42	100																
	小 倉 南	3	97.82	54	2	1	0	52	2	5	7	-2	34.62	60																
	小 倉 西	4	78.45	45	1	0	0	44	1	2	3	-1	34.09	50																
	門 司	4	89.35	35	2	0	0	34	2	4	4	0	8.82	36																
	門 司 西	3	78.78	41	0	1	1	44	0	4	1	3	34.55	46																
	*衛星クラブ	2	78.64	11	3	0	0	11	3	0	0	0	100.00	46																
	戸 畑	5	95.92	13	2	0	0	12	2	0	1	-1	75.00	20																
	戸 畑 東	4	91.53	24	3	0	0	24	3	0	0	0	62.50	26																
	若 松 中央	3	81.80	20	3	0	1	22	4	3	1	2	69.57	33																
	若 松 中央	3	82.62	24	1	0	0	24	2	2	2	0	29.17	24																
計(11RC)	40	85.48	465	37	4	2	472	40	34	26	8	47.80	514																	
3	飯 塚	4	84.61	70	0	1	0	71	0	7	6	1	22.54	75																
	直 方	3	71.62	35	4	0	0	32	4	0	3	-3	62.50	36																
	直 方 中央	3	84.37	29	6	0	0	29	6	0	0	0	100.00	32																
	遠 賀	3	80.63	39	3	0	0	40	3	2	1	1	57.50	45																
	八 幡	2	87.98	44	5	2	0	45	5	3	2	1	33.33	46																
	八 幡 中央	4	94.67	49	5	0	0	50	6	1	0	1	70.00	52																
	八 幡 南	4	87.59	47	1	0	0	50	2	3	0	3	50.00	49																
	八 幡 西	4	87.90	49	0	0	0	51	0	3	1	2	37.25	52																
計(8RC)	27	85.82	362	24	3	0	368	26	19	13	6	54.14	387																	
4	太 宰 府	3	93.90	47	3	0	0	47	3	1	1	0	97.87	53																
	福 岡	4	85.67	124	6	1	1	129	7	15	10	5	73.85	110																
	福岡エアポート	2	87.80	0	0	2	0	23	5	3	5	-2	100.00	36																
	福 岡 平 成	3	75.47	49	11	0	0	50	12	3	2	1	72.00	52																
	福 岡 東	4	73.31	75	18	0	0	76	17	5	4	1	68.09	100																
	*衛星クラブ	2	59.53	17	2	0	0	18	2	1	0	1	100.00	17																
	福 岡 城 南	4	84.57	48	10	1	0	51	10	6	3	3	100.00	61																
	福 岡 南	3	74.58	90	0	1	1	96	0	10	4	6	66.04	114																
	*衛星クラブ	2	65.84	11	6	0	0	11	6	0	0	0	100.00	11																
	福 岡 東 南	4	75.17	66	10	1	1	60	8	5	8	-3	77.50	98																
	*衛星クラブ	2	46.02	23	2	0	0	20	2	4	5	-1	100.00	23																
	博多イフニング	3	80.24	44	7	0	0	47	7	6	1	5	80.33	52																
	*衛星クラブ	2	88.40	15	4	0	0	14	3	2	2	0	100.00	15																
	宗 像	4	73.67	47	5	0	1	51	5	7	3	4	54.90	52																
対 馬	4	72.97	22	3	0	0	21	3	0	1	-1	8.82	36																	
*衛星クラブ	1	88.31	12	2	0	0	13	3	1	0	1	100.00	12																	
計(11RC)	47	78.87	690	89	6	4	727	93	69	49	20	72.67	728																	
5	福 岡 中 央	3	88.16	51	10	0	0	49	9	2	4	-2	80.33	70																
	*衛星クラブ	2	81.86	14	1	0	1	11	1	1	3	-2	100.00	14																
	福岡イフニング	3	58.68	39	8	0	1	38	7	3	4	-1	66.67	45																
	福 岡 城 西	3	91.04	116	0	0	0	114	0	7	5	2	57.02	120																
	福 岡 城 東	3	82.49	22	3	0	0	22	3	1	1	0	13.64	28																
	福 岡 北	3	87.38	51	5	3	0	58	6	7	0	7	60.34	58																
	福 岡 西	5	86.54	148	3	3	0	149	4	9	8	1	71.14	150																
	博 多	2	91.17	56	6	0	0	56	5	6	5	1	67.86	64																
	壱 岐	4	95.23	42	3	1	0	43	2	2	1	1	55.81	45																
	壱 岐 中央	4	86.02	28	1	0	0	30	2	2	0	2	63.33	32																
糸 島	4	84.20	53	1	2	1	58	3	7	2	5	54.39	60																	
計(10RC)	36	86.51	620	41	9	3	628	42	47	33	14	59.05	672																	
6	甘 木	4	88.93	56	2	0	0	55	2	5	2	3	38.18	60																
	久 留 米	3	85.99	84	4	0	0	81	4	4	8	-4	37.04	90																
	久留米中央	3	100.00	37	3	0	0	34	3	0	3	-3	73.33	54																
	*衛星クラブ	2	100.00	11	2	0	0	10	2	0	1	-1	100.00	11																
	久留米東	3	85.89	77	7	0	0	75	7	2	4	-2	33.33	80																
	久留米北	3	87.14	73	9	0	0	72	10	4	4	0	48.61	76																
	小 郡	4	89.69	47	2	2	0	46	3	3	4	-1	75.00	50																
	*衛星クラブ	2	91.67	12	0	0	0	12	0	0	0	0	100.00	12																
	鳥 栖	4	88.56	50	6	2	0	52	6	4	2	2	48.08	60																
浮 羽	4	83.66	33	1	0	0	32	1	1	2	-1	31.25	35																	
計(8RC)	32	88.34	480	36	4	0	469	38	23	30	-7	48.10	505																	
7	筑 後	4	96.18	30	1	0	1	28	1	0	2	-2	27.59	31																
	大 牟 田	4	89.35	36	1	0	0	37	1	1	0	1	94.59	43																
	大 牟 田	4	90.95	64	6	0	0	61	7	2	5	-3	80.33	63																
	大 牟 田 北	4	84.81	49	2	0	0	51	3	4	2	2	78.43	59																
	大 牟 田 南	4	86.40	28	0	0	0	29	0	1	0	1	24.14	32																
	八 女	4	81.38	18	4	0	0	18	4	2	1	1	69.23	35																
	*衛星クラブ	2	91.67	8	2	0	0	8	2	0	0	0	100.00	8																
柳 川	4	79.04	43	4	0	1	41	6	3	5	-2	97.62	47																	
計(7RC)	30	87.19	276	20	0	2	273	24	13	15	-2	67.42	310																	
総 計	クラブ数	61	累計出席率	83.59	期首会員数	3,101	(内女性)	271	当 月	入 会	28	退 会	12	末日会員数	3,142	(内女性)	290	2024年6月末日からの累計	入 会	239	退 会	177	増 減	62	My Rotary登録率	61.25	(5/1現在)	26年7月1日	目標会員数	3,340

寄付認証者紹介 (4月分)			
ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) 会員			
井浦 正之 君	福岡南RC		
秋山 知昭 君	久留米中央RC		
2026年5月12日現在 138名			
ポール・ハリス・フェロー (3月追加分)			
高野 清隆 君	小郡RC		Multiple
柳 茂 君	小郡RC		
(4月分)			
右田 和暉 君	遠賀RC		Multiple
松本 篤 君	小倉RC		Multiple
馬場 貞仁 君	宗像RC		Multiple
徳永 哲彦 君	宗像RC		Multiple
松井 明男 君	行橋みやこRC		
田淵 哲朗 君	行橋みやこRC		
秋山 知昭 君	久留米中央RC		Multiple
熊手 幹彦 君	福岡東南RC		
井浦 正之 君	福岡南RC		Multiple
森 陽一 君	福岡北RC		Multiple
米山功労者			
徳永 哲彦 君	宗像RC		表彰回数 2
大林 清幸 君	八幡西RC		4

6月地区内行事予定表	
3日(水)	インターアクト委員会
5日(金)	危機管理委員会
6日(土)	ロータリー情報委員会 PHS及びメジャードナーの集い 福岡西RAC創立55周年記念式典
9日(火)	クラブ運営支援委員会
11日(木)	地区ラーニング委員会
18日(木)	青少年奉仕委員会 会員増強委員会 ロータリー財団委員会
20日(土)	国際青少年交換来日学生修了証書授与式、 派遣学生壮行会

4月新会員ご紹介 (18RC 28名)		
グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
1	豊前	米谷 伊都美
	行橋	三宅 真一
2	小倉	堀内 智文 加藤 慎一
	小倉南	吉田 和彦
	門司西	脇谷 貴広
3	飯塚	村岡 裕靖
	八幡	甲良 和生 宮本 政一
4	福岡	大八木 昌宏
	福岡エアポート	進 智恵 伊賀上 健司
	福岡城南	本田 幸一郎
	福岡南	松下 琢磨
	福岡東南	柴田 雄祥
5	福岡北	神田 識二郎 青柳 竜門 下村 竜介
	福岡西	江口 義浩 宍道 学
	壱岐	山村 由比 岡田 裕慶
6	糸島	井料 智洋 佐藤 寛
	小郡	高田 由香 富安 孝成
	鳥栖	倉員 速刀 添田 真一郎

第2700地区ガバナー月信 **編集委員会連絡所**

月信担当/部門長: 上田真也 副部門長: 草原祥子
筒丸貴行 石川龍之介 清原一貴
ロータリーの友地区代表委員/上田真也
連絡先/株 梓書院 ガバナー月信編集局
〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1
TEL092-643-7075 FAX092-643-7095 E-mail: mail@azusashoin.com

 国際ロータリー第2700地区
ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F
TEL. (092) 481-2650 FAX. (092) 481-2651
事務所長 E-mail: gocheef@2700rid.com
事務所 E-mail: ri2700go@2700rid.com
(執務時間) 平日/ 9:30 ~ 17:00 土曜日・日曜日・祝日/ 休務